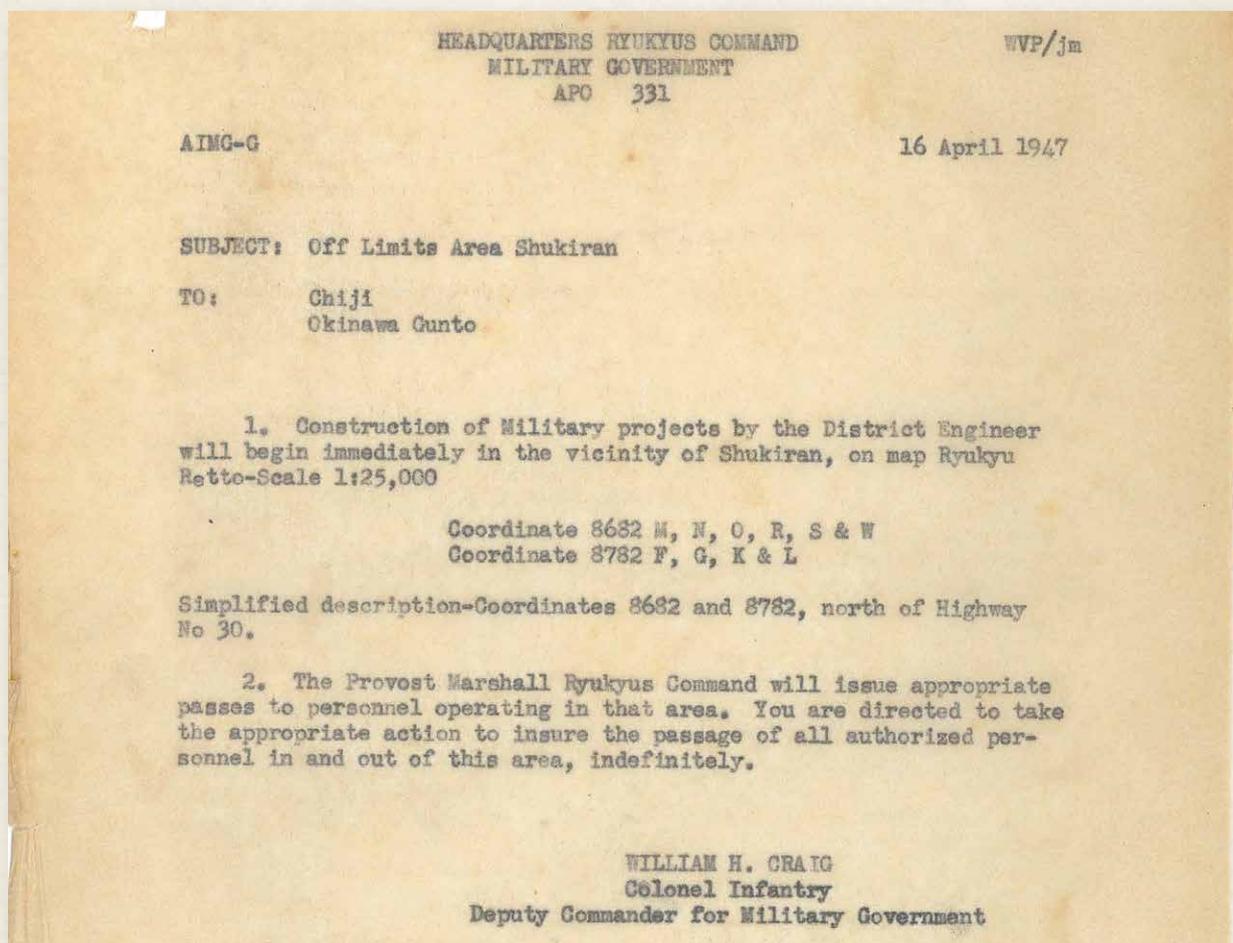


# 琉政だより

NO.04

2017年9月

## 対米国民政府往復文書



[Off Limits Area Shukiran 1947/04/16] 資料コード：R00165448B, 99頁

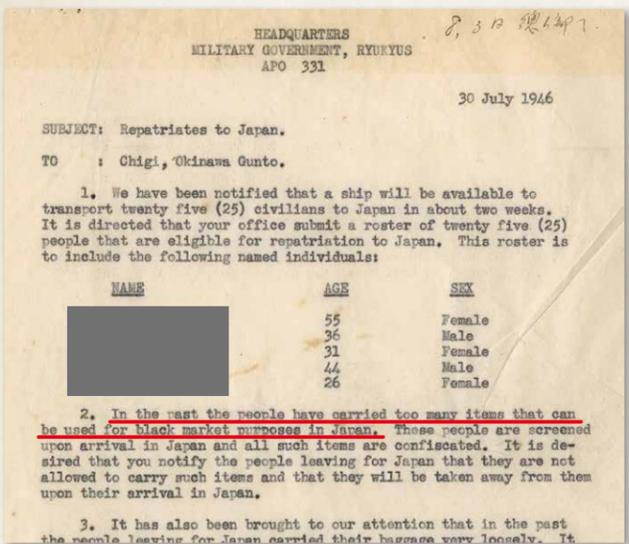
琉球政府文書のなかでも利用が多い「対米国民政府往復文書」のインターネット公開を始めました。米国と沖縄との日常的なやりとりや関係性を垣間見ることができます。



**「対米国民政府往復文書」**(通称「往復文書」)は、1946年から72年までの間に、統治者である米国側(軍政府・米国民政府 USCAR)と、沖縄民政府・沖縄群島政府・琉球政府などの間で交わされた文書の事です。翻訳を担当していた琉球政府総務局 渉外広報部文書課のシリーズ「米国民政府との往復文書の管理に関する書類」に379冊がまとめられています。インターネットで閲覧できるようになった1946年から49年の「往復文書」から注目資料を紹介し、これらの資料からは、米国と沖縄との日常的なやりとりや、両者の関係性が見えてきます。

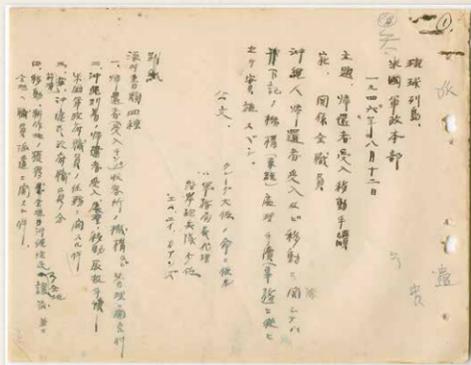
## 引揚げ・帰還

沖縄から日本への引揚者が、日本の闇市(black market)で売るためにたくさんの品物(too many items)を持ち出したことを軍政府が問題視しています。



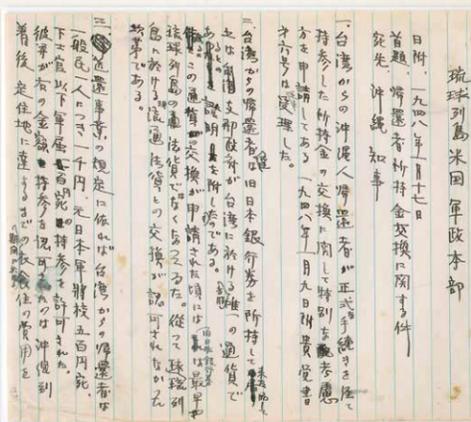
[Repatriates to Japan 1946/07/30] 資料コード: R00165446B, 122頁

沖縄への帰還者の受入キャンプ(収容所)の機構や管理、移動の手続きなどが記されています。



[帰還者受入移動手続 1946/08/12] 資料コード: R00165446B, 131-143頁

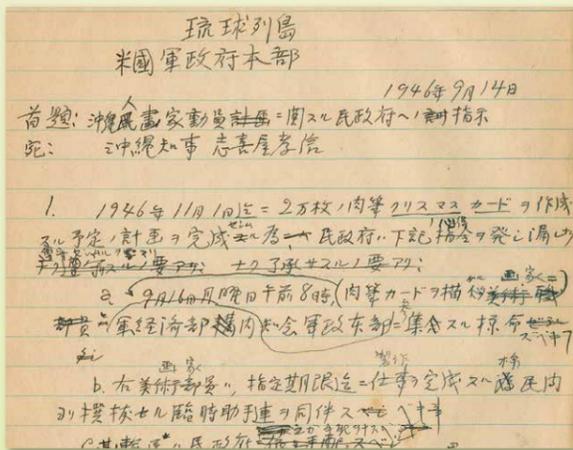
台湾からの帰還者が所持する「旧日本銀行券」は、琉球列島では使用できませんでした。帰還者からの通貨交換の要請に対して、軍政府が指示を与えています。



[帰還者所持金交換に関する件 1948/01/17] 資料コード: R00165449B, 165-166頁

## クリスマスカード

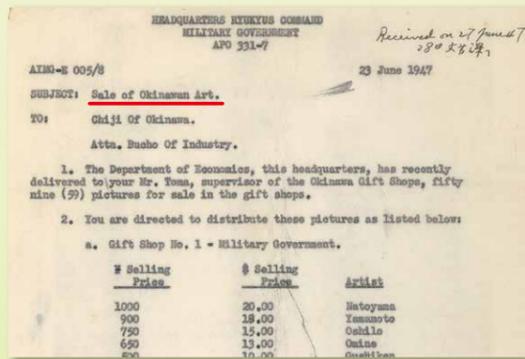
米軍人用に「2万枚ノ肉筆クリスマスカードヲ作成スル」ため、「沖縄人画家」を「動員」するよう軍政府が指示しています。



[沖縄人画家動員に関する民政府への指示 1946/09/14] 資料コード: R00165446B, 164-165頁

## 沖縄の美術品を基地内で販売

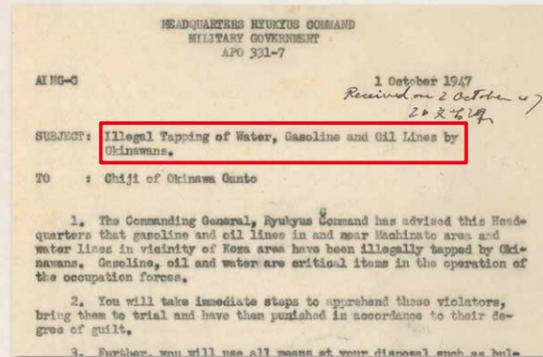
基地内の土産品店(Gift Shop)で販売する沖縄人画家の絵画の値段などが定められています。



[Sale of Okinawan Art 1947/06/23] 資料コード: R00165448B, 183-185頁

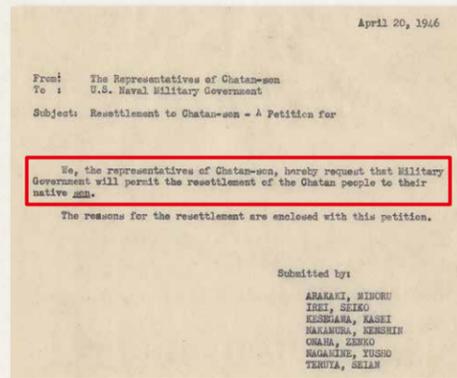
## 軍事基地と住民生活

住民が軍の輸送管から水やガソリンを違法に抜き取っていると、軍政府は厳格な対応措置をとるよう沖縄民政府に求めています。



[Illegal Tapping of Water, Gasoline and Oil Lines by Okinawans 1947/10/01] 資料コード: R00165448B, 227頁

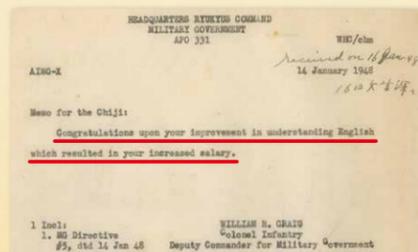
米軍基地が集中していた北谷村では、村民の居住許可が下りず、北谷村の代表者が軍政府に帰村を陳情しています。



[Resettlement to Chatan-son - A Petition for 1946/04/20] 資料コード: R00165446B, 305頁

## 英語力向上で知事の給料アップ

軍政府副長官が、知事 (the Chiji) の英語の理解力向上を祝し、給料を増額としています。

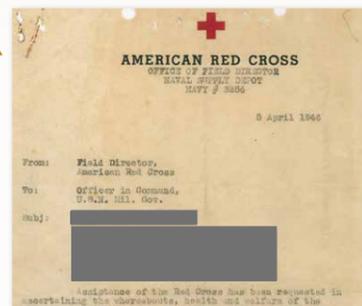


[Memo for the Chiji 1948/01/14] 資料コード: R00165449B, 152頁

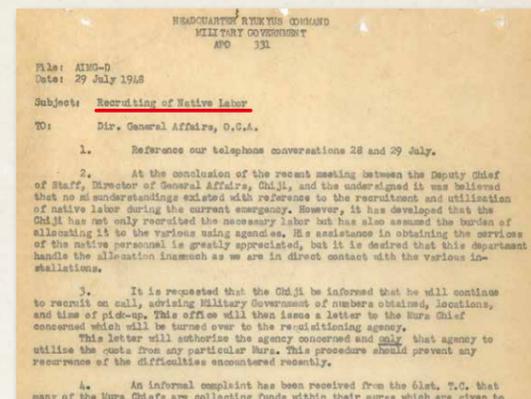
## 安否照会

米国赤十字社から軍政府に、沖縄出身 American citizen の安否を尋ねています。

[No title 1946/04/05] 資料コード: R00165445B, 6頁



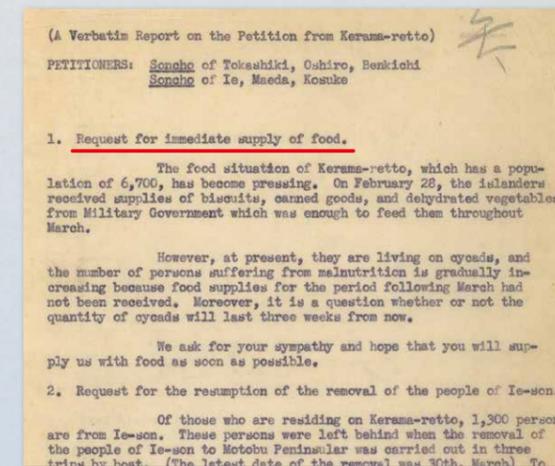
軍の各機関が必要とする労働力について、知事が住民から募集して軍政府に報告することが確認されています。



[Recruiting of Native Labor 1948/07/29] 資料コード: R00165450B, 273頁

## 逼迫する食糧事情

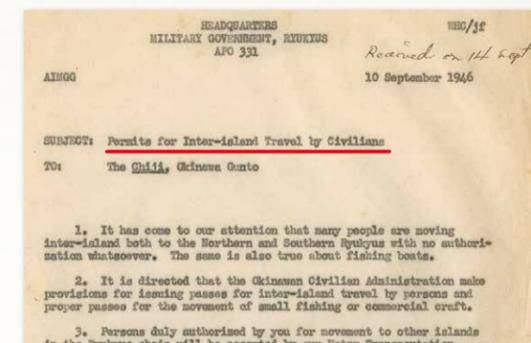
渡嘉敷村長と伊江村長が、慶良間列島における食糧の不足を訴え、迅速な食糧の供給(immediate supply of food)を陳情しています。



[A Verbatim Report on the Petition from Kerama-Retto] 資料コード: R00165447B, 32頁

## 群島間の移動制限

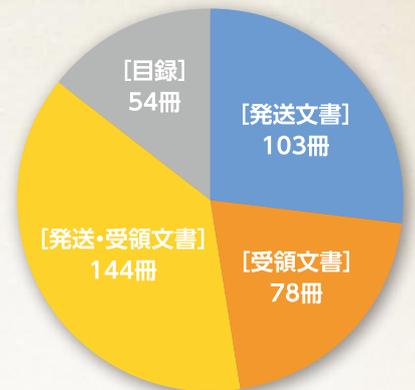
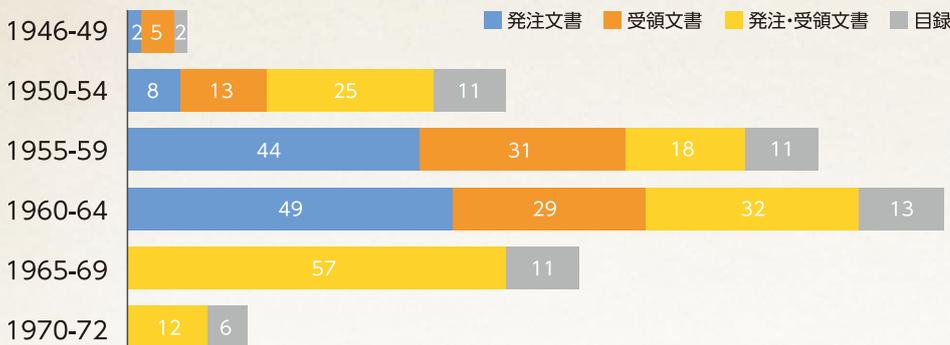
軍政府は、住民が無許可で群島間(沖縄一奄美・先島間)を移動していることを問題視し、軍政府管理下で許可証を発給するよう沖縄民政府に命じています。



[Permits for Inter-Island Travel by Civilians 1946/09/10] 資料コード: R00165446B, 162頁

## 往復文書の内訳

琉球政府総務局 渉外広報部文書課が保有していた「往復文書」379冊は、主として沖縄側が作成して米国側に送付した文書を綴った「発送文書」、その逆の「受領文書」、両者が混在する「発送・受領文書」、そして目録(文書件名のみリスト)に大別できます。資料年度は、1950年代後半から60年代半ばの時期が多いです。

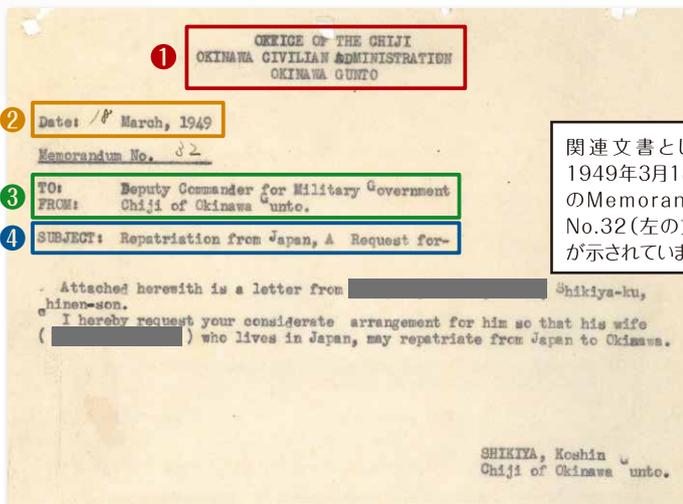


## 往復文書の記述構成

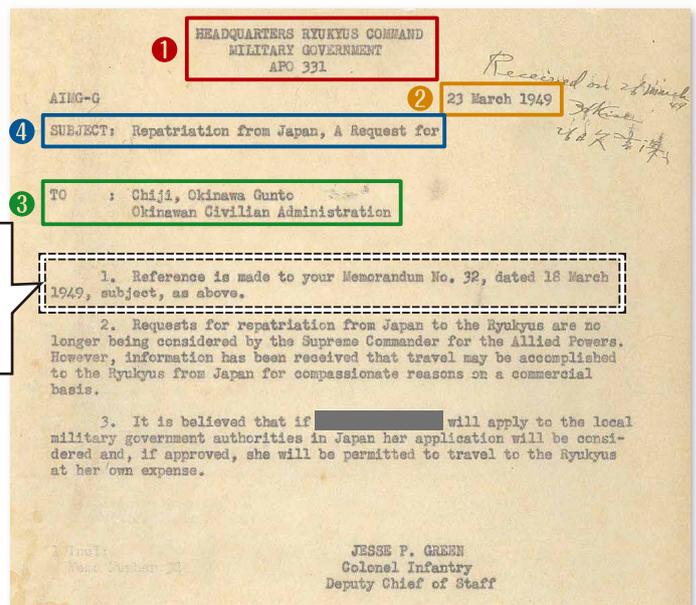
左の文書は、本土にいる家族の引揚げをめぐる沖縄民政府から軍政府宛ての要請、右の文書はそれに対する軍政府の回答です。

受領文書 from 米国側 to 沖縄側

発送文書 from 沖縄側 to 米国側



資料コード：R00165451B, 91頁



同資料, 105頁

- ①作成機関 沖縄民政府
- ②日付 1949年3月18日
- ③発送元 沖縄群島の知事(沖縄民政府知事)  
宛先 軍政府副長官
- ④主 題 日本からの引揚げの要請

知念村の●●●●(人名)の妻を、本土から沖縄へ帰還させるよう要請しています。

- ①作成機関 琉球列島米国軍政本部
- ②日付 1949年3月23日
- ③宛先 沖縄群島の知事、沖縄民政府
- ④主 題 日本からの引揚げの要請

左の要請について、同情されるべき理由があれば、連合軍最高司令官の審査を経て許可を得た後、自費による帰還が可能であると回答しています。

沖縄県公文書館ホームページの所蔵資料検索画面で「米国民政府との往復文書」のキーワードで検索すると、検索結果から資料画像にジャンプできます。資料年代の古い簿冊から順次画像を追加していきますので、どうぞご活用ください。

琉球政府文書デジタルアーカイブ 琉政だより NO.04

発行日:平成29年9月30日 編集発行:(公財)沖縄県文化振興会 公文書管理課  
〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川148-3 沖縄県公文書館内  
電話:098-888-3875(代表) FAX:098-888-3879

